

サイクルツーリズムを活かした観光振興について

Q & A



小澤五月江

問 適切な走行環境を大きな費用をかけることができる整備は。

答 青い矢羽根マークを設置。これは自転車の走行スペースの確保とコース案内、ドライバーの注意喚起として効果があり比較的安価に設置できる。

問 受け入れ環境の確保は。

答 サイクリストが気軽に立ち寄って、工具や空気を入れたり、自転車ラックを配置した休憩所「バイシクルピット」を市内21カ所整備している。

問 魅力を伝える為の情報発信、プロモーションの考えは。

答 サイクリストに向けて伊豆半島の自然や走りやすさの魅力などウェブを通じて随時発信が重要。また、SNSを活用するのも一つの手段。

問 サイクルツーリズムを活かした観光振興の具体的な考えは。

答 歴史や文化や花などをテーマにした周遊コースのマップなど検討中。

問 マップなど多言語の考えは。

答 今年度策定中の景観エリア計画の

際多言語の表記の検討。また、案内表記などを作成していく考え。



レンタサイクル(伊豆長岡駅前)

学校ICT環境整備計画の進め方について

問 ICT環境整備の推進について。

答 パソコン教室のタブレット化、電子黒板、デジタル教科書の購入、学校ネットワークのクラウド化、教育状況セキユリティポリシーの策定。今年度中に見直しを。

問 GIGAスクール一人一台の端末整備の計画は。

答 財政負担の平準化を図り令和2年から令和4年の試算関連で整備を検討。

問 教員の業務負担増による指導支援員の考え方は。

答 現在配置している民間情報アドバイザーの活用の方や近隣市町と連携したICT活用教育アドバイザーの設置を検討していく。

中期財政計画と令和2年度予算について

Q & A



内田隆久

問 令和2年度中期財政計画の歳入(市税と交付税)と予算を比べると約4億円の差が生じる。昨年つくった中期財政計画の意味は。

答 税制改正で法人税率が下がり読み違えがあった。

問 大型公共事業の継続費が目立って、膨らむ財政事情に追われて、手詰まり感がある。歳出削減の跡が見えない予算で今後、基金の取崩しでやっていて、あと何年もつのか。

答 令和9年度末基金は、10億円強。令和元年度、台風19号関係は、約2億円程度を一般財源でまかかった。修正を検討しなければならぬ。

問 3月議会の初日に、市長は「ブレーキを踏んで慎重な判断をする。」と、2日目には副市長が「大型事業が重なって反省している。」また、戦略部長は「ばらまきの事業の見直し」と言った。中期財政計画関係なしに、毎年予算を進めていっても、うまくいかないのではないかと。議員必携(第11次改訂新版)

に、「市長の人氣取りのため、総花的に補助金をばらまいていることはないか十分審査しなければならぬ」とあるが市長はどのような考えか。

答 はっきり申し上げて議員必携に書かれているばらまきは無い。戦略部長もそういう意味で発言したものでない。市民のための施策あるいは事業をやるのは当たり前のこと。

問 台風19号、新型コロナウイルスなど想定外の事態の備えは基金。それを積まないで、大型事業を優先してやっていくことに無理がある。市長が言われたブレーキを踏んで見直す必要があるのでは。

答 財政破綻しないよう肝に銘じている。今後は財政調整基金と中期財政計画との連動も含めて、できないことは先送りも含めて検討する。アクセルを踏んだのは教育関係。ブレーキをかけたのは長岡温泉の街路。生活基盤整備は、合併特例債が終わるとできない。



新火葬場建設現場(総工費約21億円)

小野市政の重要施策について



柴田三敏

問 2期目・新7つの命題というマニフェストは、どのように評価していますか。

答 取り組み状況を検証すると、約90%が実施済み、あるいは実施中という現状です。何よりも職員の積極的な取り組みがあったからです。

着実な進捗が図られていると自負しておりますが、その評価は市民の皆様にお任せしたいと考えています。

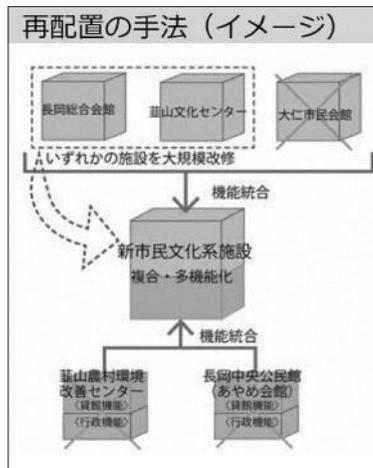
問 事業化した事業の中で、特に近隣の自治体では実施していない、伊豆の国市が誇れる事業は何ですか。

答 地続きの自治体では、実施していないという点では、子どもインフルエンザ予防接種助成を中学生まで対象としていること等が上げられます。

問 139の公共施設が直面している課題解決の具体的な進捗はいかがですか。

答 平成28年3月に策定した伊豆の国市公共施設等総合管理計画では、人口減少・少子高齢化への対応、厳しい財源

状況への対応、公共施設等の老朽化への対応の3つを課題とし、この解決に向け方針を定め、再配置計画を策定しました。現在新ごみ処理施設、新火葬場新し尿処理施設の3つの施設の準備が進んでおります。また、令和2年度から文化施設の機能統合に向け、対象施設の利用実態調査等の基礎調査に着手します。



合併15年新観光施策について

問 2020東京オリ・パラに向けた新たな計画は。

答 本市では、当地開催に向け、実行委員会を組織し、その中で市のPR及び来訪者に向けたおもてなし事業としては、東京2020公式ライブサイトを葦山時代劇場で開催します。

また、計画段階ではありませんが、伊豆長岡温泉街でパブリックビューイングを開催し、地元ならではの演出をしたと考えています。

人口減少対策として、外国人との共存について



久保武彦

問 市内で外国人を雇用している企業名はありますか。

答 管轄している静岡労働局に確認したところ、情報公開を制限しており、企業名の公表はしておりませんとの回答でありました。商工会でも詳細は把握しておりませんが、製造業、建設業、介護業、飲食業等に従事していると聞いております。

問 在住外国人の日本語教育はやっていきますか。

答 現在市では、市が主体となった日本語学習の機会を設けておりませんが、伊豆の国市国際交流協会が葦山文化センターにおいて在住外国人に向けた日本語話そう会を開催しております。

問 技能実習制度を利用して本市に居住している外国人を把握していますか。

答 令和2年1月末現在技能実習制度を利用して伊豆の国市内に居住している外国人は151人となっております。

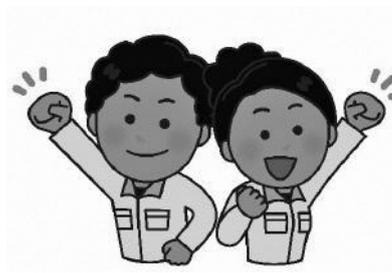
問 昨年4月からスタートした「特定技能制度」はいかがですか。

答 特定技能制度は、特性産業分野における知識、経験、技能を要する業務に従事する外国人を受け入れる制度で、同制度には大いに期待しております。特定技能制度は専門的・技術的分野の外国人労働者が対象となりますが、特定技能制度で就労する外国人は、まだ国内でも少人数であります。今後特定技能者が増えてきた場合には、受け入れ態勢の整備を検討していきたいと考えております。

問 外国籍の児童生徒の日本語教育はどのようにしていますか。

答 23人の外国籍児童生徒で、日本語指導を要する児童生徒として6人が在籍しております。

国語や算数・数学を主として、取り出し指導や学習支援員により一斉授業の中での個別支援、また休み時間や放課後などの時間を活用して補充学習を行っております。



ふるさと納税にQ&A



井川 弘二郎

問 過去5年ふるさと納税寄附額と件数は。周辺市町と比べて当市の実績は。

答 平成27年、419件、4744万円。平成28年、1301件、1億3567万円。平成29年、2165件、1億5489万円。平成30年、5327件、1億5385万円。令和元年度、1月31日現在で、1万5796件、3億4825万円。

令和元年6月1日より、総務省によるふるさと納税に関する基準が強化され、他市町のふるさと納税額及び件数が減少傾向にある中、当市は、前年寄附額に対して2倍以上、件数に対しては3倍以上となっている。

問 ふるさと納税寄附をするときの寄附手段について。

答 インターネット上で2つのサイト、ふるさとチョイスと楽天ふるさと納税を利用している。インターネット環境がない方のためには、紙媒体による申出書を用意している。

問 今後、ふるさと寄附金推進事業の展開をどのように考えていますか。

答 現在、次年度に向けて、返礼品の取扱事業者に戻礼品の見直しや新しい返礼品の開発を依頼している。また、事務作業は現状、外部委託などはせず職員の手で処理しており、常に作業手順の見直し、さらなる効率化を図るため、次年度、試験的にRPA・事務処理自動化機器を導入する予定。

福祉用具の充実について

問 伊豆の国市で、国の指定難病、網膜色素変性症を発病している人数は。

答 伊豆の国市で指定難病を発病しているのは、直近の網膜色素変性症の受給者証取得者、11人です。

問 支援眼鏡を福祉用具に入れることについて。

答 今後、県のガイドラインの給付品目に暗所視支援眼鏡が追加された際には、近隣市町の給付状況などを考慮しながら暗所視支援眼鏡を追加検討。



旧大仁町の「ふるさとの川整備事業」と、かわまちづくり計画



鈴木 俊治

問 かわまちづくり計画で、同じ場所に旧大仁町が実施した「ふるさとの川整備事業」をどのように取り扱うか。

答 今後、計画の修正や新たなパンフレット等作成時に「ふるさとの川整備事業を継承する」という文言を明記。

問 この計画にオフロード自転車コースの整備を追加した理由は。

答 作業部会から伊豆の国市らしい特色ある取り組みをすべきとの意見から。

問 「かわかんじょう」スペースは、どのように整備するのか。

答 国が、コンクリートで整備。

問 ハード事業の内容と事業費は。

答 国が、多目的広場等の護岸整備や盛土及びスロープ階段を設置。費用は約3億1700万円。市は、芝生広場の芝張り、多目的広場の舗装、深沢川の渡石やベンチ等の設置。費用は約4500万円。



伊豆の国市かわまちづくり計画イメージ

2020東京オリンピック・パラリンピックとインバウンド

問 インバウンド施策は。

答 東京2020公式ライブサイトやパブリックビューイングを開催する。

問 モンゴル国との柔道競技事前キャンプに関する協定書の内容は。

答 昨年8月6日に協定を締結。内容は、柔道競技チーム関係者の受け入れ（市内の交通費・滞在費を本市負担）と、事前キャンプ中の日本国内交通費・本市内の滞在費（五輪終了後の市民交流事業も含む）を本市が全て負担。

問 モンゴル国柔道チームホストタウンとしての経費は。

答 予算は1435万8千円。

問 GIGAスクール構想の実現

問 この構想を如何様に実現するのか。

答 国の補助金（パソコンは1台当たり4万5千円定額補助、無線LANは整備費の2分の1補助）を活用して令和4年度までに整備する。

問 家庭でパソコンの準備が必要となるのか。

答 国の方針等で家庭学習でもこのパソコンが使える。

◆GIGA（ギガ）スクール構想
Global and innovation Gateway for Allの略
全国の学校に高速な校内ネットワークと児童生徒一人1台分の情報端末が整備される事業。